

授業科目名	風土と場所文化	単位数	2単位
担当教員名	関根 達郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
地域の成り立ちと地域学とは何かを知ること、学んだことを生かして自分の地域を知ろうとすること、調べようとすることを目標とする。			
授業の概要			
地域の成り立ちや地域学について、テキストの視点で学習し、自分にとっての「地域とは何か?」「自分の地域を見つめて調査すること」を目標に自分にとっての風土や場所文化を知り、そのことから自分について見つめ直していく。			
授業計画			
第1回: ガイダンス 第2回: 地域のとらえ方 3つの視角 第3回: 地域と生命① 弥生時代の地域・江戸時代までの地域 第4回: 地域と生命② 村と町と都市・道の役割 (事例を読み取る) 第5回: 地域と人間社会① 地域と人口の関係 (事例を読み取る) 第6回: 地域と人間社会② 国々と国家統一 第7回: 地域と人間社会③ 家制度と村 第8回: 地域と人間社会④ 町と都市 近代国家と地方自治体 第9回: 歴史と文化① 文化 第10回: 歴史と文化② 歴史と文化と信仰 第11回: 歴史と文化③ 歴史をたどる 第12回: 変容と私たち① どんな変容があるのか 第13回: 変容と私たち② 現代とこれから 第14回: 地域学と私たちの未来 自分とこれからの地域のあり方を構想する。 第15回: まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
山下 祐介(2021)『地域学入門(ちくま新書)』筑摩書房、978-4-480-07429-4			
参考書・参考資料等			
・山下祐介(2020)『地域学をはじめよう(岩波ジュニア新書927)』岩波書店、978-4005009275 ・山崎義人・清野隆・柏崎梢・野田満(2021)『はじめてのまちづくり学』学芸出版社、978-4-7615-2781-5 ・日本経済新聞社地域報道センター(編集)(2022)『データで読む地域再生「強い県・強い市町村」の秘密を探る』日経BP 日本経済新聞出版、978-4296114900			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			